

森林整備課

- 新規評価箇所検討一覧表 (BBB 評価以上) …P1
- 新規事業概要
 - ・ 治山事業 …P3
- 公共事業新規評価調書 (整備系) …P5

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			公・単	総事業費 (百万円)	完成 予定 年度	重要施策との関連性 (他事業との関連含む)	新規評価に至った経緯
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置づけ	必要性・効果	実施環境					
1	治山	生活関連	山地治山事業	浅浦地区	鹿島市		三河内	溪間工 (治山ダム2個)	A	A	A	I	65	R6	「新しい佐賀の森林づくりビジョン (Ver.2)」の「環境を育む森林づくり」 の推進に位置づけられている。	山地災害発生への恐れがある箇所を早急に整備する必要があるため
2	治山	生活関連	山地治山事業	東飯森地区	武雄市	北方町	大崎	溪間工 (治山ダム2個)	A	A	A	I	65	R6	「新しい佐賀の森林づくりビジョン (Ver.2)」の「環境を育む森林づくり」 の推進に位置づけられている。	山地災害発生への恐れがある箇所を早急に整備する必要があるため

治山事業

農林水産部 森林整備課

1

治山事業とは...

事業の目的

- 森林の維持造成を通じて山地で起こる災害から住民の生命・財産を守るとともに、水源かん養や生活環境の保全・形成等を図る。

事業の内容

- 山腹崩壊地や不安定に土石が堆積した荒廃溪流地等の復旧整備。

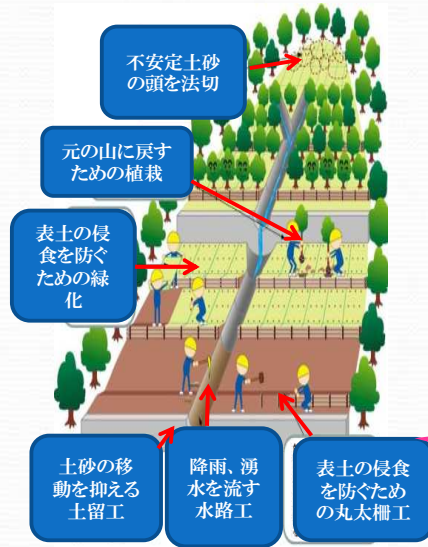
2

治山事業の主な工法

山腹工

【山腹斜面の安定化】

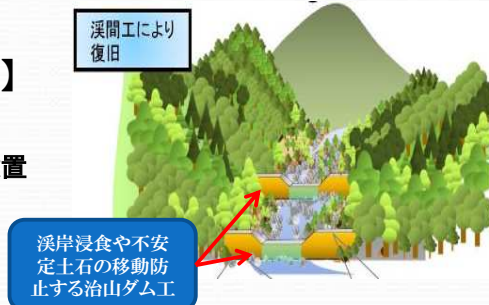
- ・土留工や水路工等の設置
- ・樹木の植栽



溪間工

【荒廃溪流の安定化】

- ・治山ダムや流路工等の設置
- ・樹木の植栽



崩壊土砂の流失の恐れ

着手前



山腹緑化工

完成

土留工

植栽工

水路工



土石流発生の恐れ

着手前

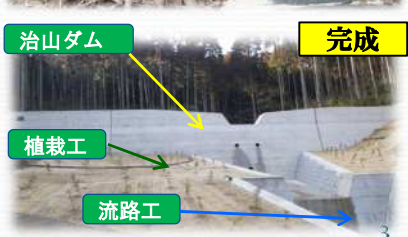


治山ダム

完成

植栽工

流路工



公共事業新規評価調書(整備系)

部 名	農林水産部	記 入	森林整備課	課 長	吉良 孝広
		責任者	杵藤農林事務所	所 長	武藤 正澄

事 業 区 分	生活関連 治山事業	事 業 名	地区名等	総事業費	65 百万円
		山地治山事業	あさくら 浅浦地区		
事 業 地			着工予定年度	完成予定年度	
鹿島市 三河内 地内			令和4年度(国補正)	令和6年度	
事 業 目 的			事 業 内 容		
<p>当地区は、令和3年8月の豪雨等により溪岸侵食が進行し、溪流内に不安定土砂が堆積している状況である。</p> <p>今後の集中豪雨等により土石流等が発生する恐れがあるため溪間工を施工し、災害の未然防止を図る。</p>			溪間工（治山ダム） 2個		
評価の視点	評 価 内 容				評 価
(1)位置づけ	「新しい佐賀の森林づくりビジョン(Ver. 2)」の「環境を育む森林づくり」の推進に位置づけられている。(10)				A (80)
	当地区は、令和3年8月の集中豪雨により、不安定土石の流出等の状況があり、災害の発生の恐れが高い。(50)				
当地区は山地災害危険区域であり、保全人家戸数10戸未満である。(20)					
(2)必要性・効果	費用対効果は 6.83 である。(60)				A (90)
	令和3年8月の豪雨等による土砂流出の災害履歴がある。(10)				
溪流の溪床勾配は20%である。(10)					
被害想定区域内に公共施設(県道)がある。(10)					
(3)実施環境	地元からの要望がある。(60)				A (100)
	鹿島市も事業に向け積極的である。(40)				

評 価	AAA	条 件 等
判 断	I	
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容
当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。 具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあつては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。 ・掘削を行う際は、土砂や濁水が施設へ流出しないよう、水替えパイプ等による排水処理を行う。

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容

※ 特に記述することがあれば記載。

治山事業 浅浦地区（鹿島市三河内地内）

施工箇所：鹿島市役所から南西に約4.7km付近



あさうら
浅浦地区（鹿島市三河内地内）

整備の必要性：当地区は、集中豪雨により溪岸侵食が進行し溪流が荒廃しており、今後の降雨でさらに拡大する恐れがある。このため、溪間工（治山ダム）を実施し、災害の未然防止を図る。

①上流部の溪岸侵食状況



②溪岸侵食及び不安定土石堆積状況



③既設谷止工満砂状況（S51年施工）



【事業概要】工期：R4～6 総事業費：65百万円
 保全対象：人家9戸（直下）、県道大木庭武雄線(0.2Km)
 整備内容：溪間工（治山ダム2個）

公共事業新規評価調書(整備系)

部 名	農林水産部	記 入	森林整備課	課 長	吉良 孝広
		責任者	杵藤農林事務所	所 長	武藤 正澄

事 業 区 分	生活関連 治山事業	事 業 名	地区名等	総事業費	65 百万円
		山地治山事業	ひがしいもり 東飯森地区		
事 業 地			着工予定年度	完成予定年度	
武雄市 北方町 大崎 地内			令和5年度	令和6年度	
事 業 目 的			事 業 内 容		
当地区は、令和3年8月の豪雨等により溪岸侵食が進行し、溪流内に不安定土砂が堆積している状況である。 今後の集中豪雨等により土石流等が発生する恐れがあるため溪間工を施工し、災害の未然防止を図る。			溪間工（治山ダム） 2個		
評価の視点	評 価 内 容				評 価
(1)位置づけ	「新しい佐賀の森林づくりビジョン(Ver. 2)」の「環境を育む森林づくり」の推進に位置づけられている。(10) 当地区は、令和元年8月及び令和3年8月の集中豪雨により、不安定土石の流出等の状況があり、災害の発生の恐れが高い。(50) 当地区は山地災害危険区域であり、保全人家戸数10戸以上である。(40)				A (100)
(2)必要性・効果	費用対効果は 13.04 である。(60) 令和元年8月及び令和3年8月の豪雨等による土砂流出の災害履歴がある。(10) 溪流の溪床勾配は20%である。(10) 被害想定区域内に公共施設(市道)がある。(10)				A (90)
(3)実施環境	地元からの要望がある。(60) 武雄市も事業に向け積極的である。(40)				A (100)

評 価	AAA	条 件 等
判 断	I	
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容
当該事業の実施により、森林の持つ水源かん養や土砂流出防止機能が維持されるものであり、工法の決定に当たっても、自然環境の保全や負荷の低減に配慮する。 具体的には、資材・重機等の搬入する仮設道にあつては、最小限の切土や盛土にとどめ、原形復旧を行い、植林して森林の再生を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
・機械の選定に当たっては、排出ガス対策、低騒音、低振動型の建設機械を使用する。 ・掘削を行う際は、土砂や濁水が施設へ流出しないよう、水替えパイプ等による排水処理を行う。

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
砕石は再生材を使用し、現地発生材(石材等)が使用可能な場合は、積極的に使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

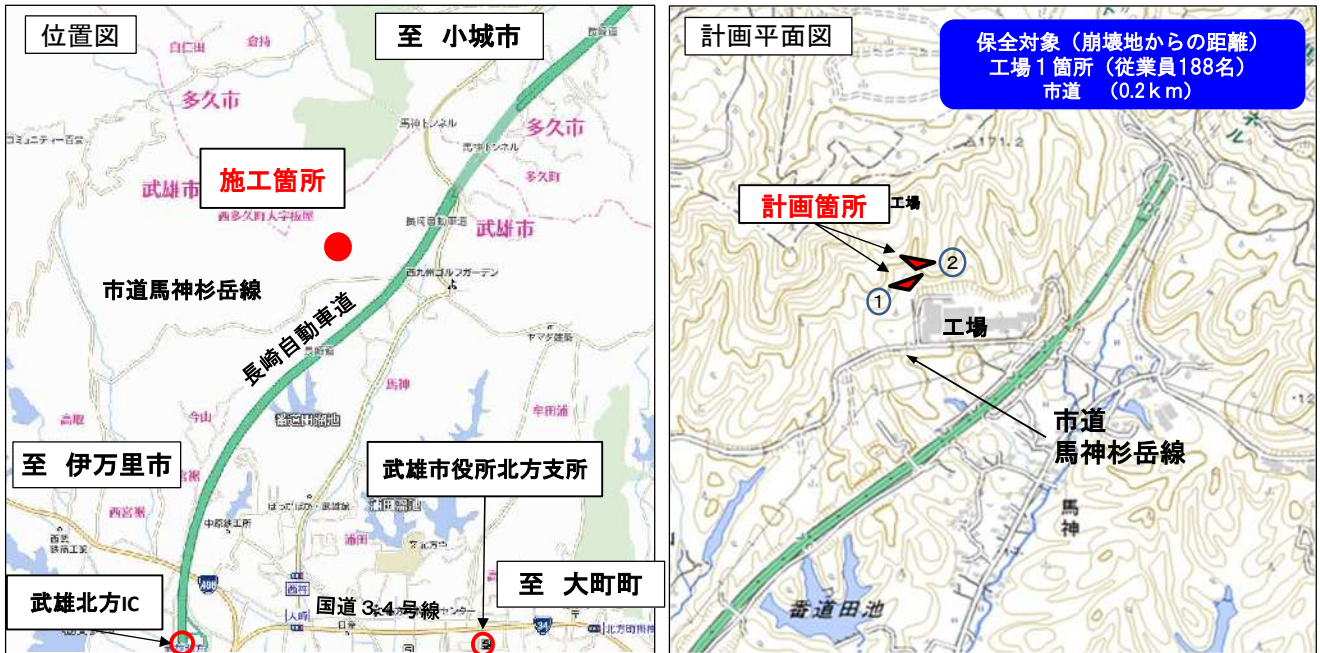
○その他

内 容

※ 特に記述することがあれば記載。

ひがしいもり
治山事業 東飯森地区(武雄市北方町大崎地内)

施工箇所: 武雄市役所北方支所から北西へ約2.0km付近



1

ひがしいもり
東飯森地区(武雄市北方町大崎地内)

整備の必要性: 当地区は、集中豪雨により溪岸侵食が進行し溪流が荒廃しており、今後の降雨でさらに拡大する恐れがある。このため、溪間工(治山ダム)を実施し、災害の未然防止を図る。

①不安定土石堆積状況



②溪岸侵食及び不安定土石堆積状況



【事業概要】工期: R5~6 総事業費: 65百万円
 保全対象: 工場1箇所(従業員188名)
 市道馬神杉岳線(0.2Km)
 整備内容: 溪間工(治山ダム2個)